

平成29年度版 改善計画

学校名： 甲府市立西中学校

No	項目	現状と課題	H30年度に目指すべき状態	①H29年度に実施する内容 ②H30年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・校内の会議については、精選や効率化が進んでいる。 ・関係機関、特に高校との連携に関する会合打合せ等が増えてきているように感じる。	・諸会議の精選を行う。 ・校内の会議は、提案や発言を簡潔に行うよ心がけ、1時間以内での実施を目指す。	①運営委員会を廃止し、会議の効率化を図る。提案や発言は、10分以内長くても15分以内を目指す。 ②校内の会議を見直し、さらなる精選を行う。会議資料を工夫し、ペーパーレス等試行する。	
2	学校行事の負担軽減	・地域連携及び小中連携に関する会合等が増えてきている状況を感じる。	・小中連携に関する内容を見直し、精選する。 ・地域連携に関しては、自治会等の協力を要請しつつ、校内では役割分担を行って対応する。	①昨年まで行っていた、出前授業・生徒指導連絡会は中止する。2月の保護者説明会時に入学予定児童も同席させ、スムーズな進学を行えるよう取り組む。 ②小中学校の教職員で一番行うべき、授業実践に関する研究会等の在り方を模索していく。	
3	校内組織の見直し	・分掌ごとの業務量に差が見られることから、負担感等を発生している状況がある。 ・「報告・連絡・相談」がスムーズに流れないことがある。	・各分掌の仕事内容を見直し、業務の多い分掌は、複数配置を行うようにする。 ・「報告・連絡・相談」を中心に組織的対応を目指す。	①業務量の多い分掌を洗い出す。効果的な「報告・連絡・相談」の在り方や方法について整理する。 ②業務量の多い分掌に関して、どのように分担して業務を行えるか、また、適正な担当人数は何人かなど、整理することができるようにする。	
4	業務の効率化	・本来の業務に加え、免許に関する事務手続きや行政へのアンケート回答や様々な報告等煩わしさを感じることがある。 ・印刷物や報告書の作成など増えるばかりなので精選した	・市教委や県教委に組織的に要請を行い、安易な調査を中心とした取組の見直しを行ってもらう。 ・報告や回答は簡潔に時間をかけずに行うよう心掛ける。 ・電子媒体で済ませられる方法を模索する。	①いろいろな担当の所に届いているアンケートや報告内容について整理する。それぞれの必要性についても整理する。学校要覧は、近隣の小中学校への配布をやめ、ホームページでの公開に留める。研究紀要なども同様に検討する。 ②校長会や教頭会で意見等集約し、各関係機関等へ、アンケートや報告の精選について申し入れをし、整理をしてもらう。近隣の学校への配布を精選し、省力化を図る。	
5	部活動の負担軽減	・大会前後を中心に、心身ともに部活動への対応によって疲労を感じている職員がいる。 ・教育内大会以外の試合数が増えているように感ずる。	・朝練を当番制にする。 ・強化旬間の活動時間について授業との関連など検討しながら、後ろに伸ばさないようにする。 ・複数顧問制を心がける。	①部活動に対して組織的に対応できる内容等整理する。生徒の主体性を大切にしたりかた、部長会などを設けての指導の在り方など、模索する。 ②引き継がれてきている内容を中心に、生徒が前年度の活動を踏襲し、自分たちで主体的に活動を進められる手立て等検討し、整理する。	
6	地域人材の活用	・集会等の精選をしていることもあり、活用の機会は以前より少なくなってきた。 ・学生ボランティアの活用が増え、助かっている。	・教育課程を見直し、必要な学習内容について、地域や関係者などの人材活用は模索していく。 ・学生ボランティアといった新たな支援員を活用する。	①総合的な学習の時間や特別活動などにおいて、どのような内容をどのような人材に支援してもらうのか洗い出す。学生ボランティアの活用についても整理する。 ②教育課程が少しでも地域や社会と関連しながら作成したり、進めたりできるよう、学習内容や地域人材について整理する。学生ボランティアも有効活用についても模索する。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった